



# さぎの森小だより

あいさつ・元気・学び合い



No.2 令和7年5月1日

学校教育目標 心豊かな子 (徳) 体をきたえる子 (体) 学び合う子 (知)

望ましい習慣を身につけて、学力向上へ

校長 星野 和久

さわやかな風が心地よい、新緑がまぶしい季節となりました。先日行われた懇談会では、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

新学期が始まり、約1ヶ月が経ちました。さぎの森小の子どもたちは、どの学年も一生懸命授業に集中して学ぶ姿や休み時間に友達と元気いっぱい遊ぶ姿等、いきいきと学校生活を送っている様子がとても印象的です。

そのような中、様々なところで子どもたちのよさが輝いています。朝会では、時間前に集合し、どの学年も静かに話を聞くことができます。下駄箱を見ると、靴のかかところがそろっていて素晴らしいです。また、休み時間



は、外へ出て遊ぶ子どもたちが多く、仲良くドッジボール等で遊んでいる姿が見られます。休み時間が終わる5分前のチャイムが鳴ると、子どもたちは、あっという間に教室へ戻り、授業の準備に入ります。このように子どもたちが自ら行動する姿には、さぎの森小の子どもたちは、本当にすごいなと感心しています。



さて、子どもたちの家庭学習の様子はいかがでしょうか。どの学年も最初に「宿題」をすること、次に「授業で学んだ復習」をすること、そして、学年が進むと関心・興味を持ったことを追究する「自主学习」をするという内容が基本となります。

家庭学習を進めて、学力を定着させるためには、「生活習慣」「食習慣」「学習習慣」「読書習慣」の4つの習慣を身につけることが大切です。心と頭と体の生活リズムを整えることで、子どもの学びが習慣化して、学力が伸びていきます。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

## <生活習慣>

学力の定着には規則正しい生活が大切です。一定の生活リズムを保つことにより、集中して学習に取り組むことができます。「早寝」「早起き」「朝ごはん」

## <食習慣>

規則正しい食事の習慣は、基礎体力をつけ、体を丈夫にします。学習にも体力が必要です。毎日、朝ごはんを食べることから始めてください。

## <学習習慣>

小学生のうちから、毎日学習する習慣を身につけることが大切です。「継続は力なり」です。

## <読書習慣>

子どものうちから本に親しみ、読書をする習慣を身につけることは、語彙(ごい)を豊かにし、読解力をつけることにつながります。